

召しませ、みどりの風

赤城コマランドは私有地を開放した冒険遊び場です。ここで、子ども達に危ないことや、悪いことや、秘密の遊びをもっとやらせて、自由にのびのび育てようとしています。今の子ども達はちょっと過保護気味ですからね！ 里山が荒れていたのに、木を植えながら遊び場作りをしてきました。この24年間で一万本以上の植樹をして、素敵な森が生まれつつあります。子ども達は大自然の中で、全身を使って自由自在に遊んでいます。しかしここ数年驚くような早さで地球の緑が失われてきました。そして、世界中で異常気象が起きています。この星と子ども達の未来の為に、私たちはどうすれば良いのでしょうか。植林はすぐには結果は出ません。でも、今できることを何かしなければと考えています。人が緑の中で安らぐのは、むかし猿だったとき、森で暮らしていたから…という説も！この秋、緑の風に吹かれて一緒にコマランドで木を植えませんか。お待ちしております♥

- と き** 2024年10月27日(日曜日)午前10時～午後3時 (申し込み不要・遅刻早退可)
- ところ** 赤城コマランド (長岡柏ライオンズ様寄贈のエノキ苗木をたくさん植えましょう)
- 会 費** 無 料 (楽しかったら、お帰りに活動支援カンパを大鍋募金箱にお願いします)
- 持ち物** 長靴・軍手・スコップ・お弁当・飲み物・防虫スプレー・着替え・ばんそうこう
- 内 容** 植樹・冒険遊び・巨大バウムクーヘン作り・マシュマロ焼き・石窯ピザ・かき氷
- その他** すずきちグッドフードフェスティバル共催・森のようちえん展・赤ちゃん休憩所



四郎丸の農家・駒村さんから山林を借りたのでコマランドです。近所の赤城神社の冠を戴いて「赤城コマランド」と名付けました。設立/2000年 住所/長岡市栖吉町字岩野 面積/9.9ha(3万坪) 地主/駒村、土田、今井、熊倉、安部、今井各氏と長岡市から無償貸与 本部/四郎丸コミュニティ協議会(教育環) 事務局/長岡市立四郎丸小学校 連絡先/長岡市四郎丸4-6-12 山川成雄 ☎090-3215-8256 役職名/親父(駒村)世話役(山川)勸定役(小林)若頭(松井)棟梁(佐藤) マタギ衆・女マタギ衆(約百名)コマランダー(多数) 会員制度無し 施設/ログハウス・ツリーハウス・能舞台・ようちえん園舎・屋外調理場・食器倉庫・石窯・野外教室・緑陰図書館・機材倉庫・水洗トイレ(4箇所)・各種木製遊具・山林管理機材・畑・水田ほか。



冒険遊び場 赤城コマランドのあゆみ



森を作り、人を育てる

今から二十五年前、テレビゲームの大ブームが起こり、子ども達の現実乖離の行動が問題視され始めていました。その最中の酒鬼薔薇聖斗の事件や、全国に野火のように広がる学級崩壊に、危機感を抱いた四郎丸地区住民が立ち上げたのが、教育環境づくりの会です。

地区内の全ての既成団体が集まって結成した組織は、後にコミュニティ協議会に発展しました。会では子ども達に仮想空間でない「本物の遊び」を体験させようと地区民から三千坪の山林を借りて「冒険遊び場」づくりを始めました。ところが行ってみたら、山はヤブに覆われ、それを刈り取ると木はほとんど枯れていました。森は荒れ果て、人の立ち入りさえ拒んでいました。そこで新たに木を植え、遊び場を作り、森と人を大きく豊かに育てようと計画を立て直し第一回植樹会を開催しました。西暦二千年の出来事です。



第1回植樹会。その後、年2回のペースで48回目。近年はスズキチとのコラボで参加者千人を超える。

冒険遊び場建設



ツリーハウスと能舞台。
能舞台は矯正施設の子と達と半年がかりで涙の竣工にこぎつけた。

我々は下草を刈り、倒木を撤去しながら、残った木々の隙間に木を植えました。それで広がった空間にブランコやシーソーを設置し、崖にロープを垂らしたり、木の間にトランポリンも取り付けました。転機となったのは、四郎丸小が建てたツリーハウスです。総合学習の時間に教室で刻み、お盆に地域の大人達が組み上げました。はしも柵もペンキ塗りも本当に子供たちの仕事です。それ以降口グハウス、石窯、野外調理場、野外教室、緑陰図書館、水洗トイレと設備を増やし、新潟少年学院の子とも達とは能舞台も建設しました。その間、周辺の私・市有地も無償で借り受けて総面積を三万坪に拡大し、都市計画法の開発許可も得ました。数年前から市の地下水供給が始まり、東北電力が電柱を十一本も建てて通電も開始されました。現在も、あずまやを一棟建築中です。

心のふるさと

十七年前から森のようちえんが始まりました。神奈川のシユタイナー幼稚園に勤務していた先生が七人の子とも達のためにコマランドでスタート。幼い頃は知識より感性を育てようという教育です。自然を五感に感じながら、いろんな事に自ら気付くことを目指しています。けんかしても本当に謝りたい気持ち芽生えるまで、周りには辛抱強く待っています。コマランドのテーマは、自由にのびのび遊ぶこと。支え合ったり、けんかしたり、仲直りしながら子ども達は社会性を学びます。美しい大自然に囲まれて、真剣で感動的本物の遊びを追求することが、人の心を豊かに育てる重要な要素だと考えています。そんな共通の思いで、今ようちえんと一緒に活動しています。実際、毎日森で子ども達の歓声が響いてくるとヤル気が出るし、保護者やOBの森づくりへの応援にも感謝しています。



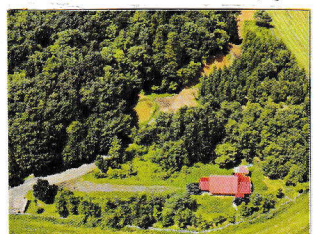
森のようちえん園舎。下條医師と(株)コロナから寄付を頂き、後はクラウドファンディングで自力建設。

いま出来ることを

世界中が異常気象に見舞われています。その原因は地球温暖化による急激な気候変動です。日本でも猛暑や豪雨やスーパー台風など、未曾有の災害が多発しています。農産物の不作だけでなく、海水温の上昇で魚介類の不漁も発生しています。今後更に気温が上昇して、海外の穀物が凶作ともなれば、輸入に頼る日本はお手上げです。私達はこの事態を知りながらも、問題を遠い先のように思っていました。人類が化石燃料を使い始めてから、二酸化炭素は増え続けています。でも大地を覆う樹木がそれを吸収し、長いあいだ気温の急な上昇はありませんでした。それがここ数年、南米熱帯雨林の消失や世界各地の大規模森林火災で多くの緑が失われ、同時に地球の異変が現実化してきました。植物は炭素を蓄積し、酸素を放出し、それを吸って私達は生きています。今ほど木の重要性が問われる時はありません。私達はこの二十四年間に一万本以上の木を植えてきました。当初は子ども達の遊び場作りが目的でしたが、今は地球の未来という命題もあります。植林はすぐに結果が生まれませんが、いま植えれば必ず未来は変わります。決してあきらめず子ども達と一緒に、森と人を大きく豊かに育てていきたいと願っています。



2000年のコマランド。



24年間で緑化が進んだ。